

解放運動推進委員会 公開講座  
「私が私であるために」

あなたにとって、  
お寺はどういう存在ですか？

寺檀制度の歴史を手がかりに、お寺や家庭で期待されてきた役割と、今の自分の思いとの間にある揺れをあらためて見つめてみませんか。

制度の中で生きてきた思いや経験を語り合い、互いに聞き合う場としてご一緒しましょう。

日時：2026年3月25日（水） 14時～17時  
（講義70分、座談50分、質疑応答）

講師：松金直美氏（大谷大学文学部真宗学科 講師）  
「地域真宗史」「真宗教団史」「真宗教団史」の  
三つの分野を主に研究

講題：寺檀制度成立の背景と現代における課題

対象：どなたでも

参加冥加金：500円

主催 金沢教区 解放運動推進委員会

お問い合わせ：金沢教務所

TEI 076-265-5191

住所 金沢市安江町15-52



## 開催趣旨

お寺では、住職・坊守・若院・准坊守  
家庭では、祖父・祖母・父・母・子

あなたは今、どの立場にいますか？

寺檀制度は、地域の暮らしと寺院を支えてきた一方で、「こうあるべきだ」という規範を人びとに刻み、ときに生きづらさを生んできた側面もあります。

本講座では、制度の中で過ごしてきたことが、自分の見方や生き方にどのような影響を与えてきたのかを振り返ります。お寺での「役割」や家庭での「立場」の中で、自分がどんな価値観のもとに育ち、いつのまにか何に縛られてきたのか、その点をとともに確かめていきます。互いの経験を聞き合う時間を大切にしたいと考えています。

単に歴史を学ぶだけでなく、社会の中に生きる私たち自身が“聞き合うこと”から始める講座としたいと思います。